

「音声から文字へ」にこだわった言語活動の充実

単元の前半は音声を中心とした指導に徹する。読んだり書いたりする活動については、児童が音声で十分に慣れ親しみ、内容の理解が深まった後に行うことで、言語活動の一層の充実を図る。

単元名 「My Future, My Dream」 (New Horizon Elementary English Course 6)

単元の中心的な学習課題 これからお世話になる中学校の先生に、自分達のことをよく知ってもらうために、小学校での頑張りや中学校で挑戦したいことなどを直接伝えよう。

～小中連携～
町内共通
実践事項

👉 **相手意識・目的意識を明確にもてる学習課題(言語活動)を設定し、伝える内容を重視した音声中心の指導を単元を通して行う**



◇ 口頭での英語のやり取りをたくさん行い、目的をもって活動に取り組み、その中で内容や表現に関する指導を行う。

指導の工夫例 児童が表現に困ったときは、既習事項を想起させ、知っているもので言い換えを促したり、全体で考えたりする場を設ける。共通する誤りや汎用性の高い表現については、適切なタイミングで必要な指導や練習を行い、再挑戦の場を与える。

👉 **発表時はノーマル原稿で～手立てとしてICTを活用～**



◇ 児童がタブレット端末を活用して、写真やイラストなどを使用したり実物を示したりすることで、英文を読むことなく内容に重点をおいた相手意識のある発表につなげる。

ICT活用の工夫例 文字のメモの代わりに、一人一台端末の録音・録画機能を活用して、自分が使いたい英語を音声のメモとして記録。必要な時に聞いて確認するなど児童が主体的に活用できるようにする。(家庭学習でも活用)

単元の 大まかな流れ



○ 単元の導入段階

- ・ 中学校の先生や先輩からのビデオレターを見る。(内容：学校生活や行事、部活動、将来の夢の紹介など)
- ・ 単元のゴール、単元終末の学習課題を確認する。

○ 単元中盤

- ・ 教科書を用いて、登場人物の「中学生に向けたスピーチ」を聞いて分かったことを共有したり、実際に友達同士で中学校で楽しみたいことについてやり取りをしたりすることを繰り返す。

○ 単元の終盤

- ・ 中学校の先生の乗り入れ授業を実施し、ビデオレターの返しとして、中学校で頑張りたいことを直接伝える。
- ・ 伝えた後、中学校の先生からコメントをもらう。
- ・ 伝えた内容について、教科書付属のピクチャーディクショナリーなどを活用し、ワークシートに書き写したり選んで書いたりする。
- ・ 書いたものを学級内で読み合ったり、ALTに読んでもらいコメントをもらったりする。



👉 **文字を示したり書かせたりするのは、音声で十分に慣れ親しんだ後に**



◇ 音声で十分に慣れ親しみ、内容をしっかり理解している状態で文字を示すことで、
⇒ 読むことや書くことに抵抗なく取り組む。

⇒ 音声と文字の関係や、語と語の区切りなどの書く際に留意すべき事項について、児童が自ら気付いたり意識したりすることにつながる。

指導の実際 歌やチャンツも含めて、全ての指導や活動において、はじめから文字を示すことは控え、少しずつ小出しに文字を扱うようにしている。

この段階で初めて「書く」活動に入る



希望をもって安心して中学校へ

令和5年度 益城町立益城中央小学校